



New-KYOSHO VISION 3rd STAGE

ニュー京商ビジョン

サードステージ

京都商工会議所 平成25年11月7日

ニュー京商ビジョン サードステージ策定に当たり =知恵の連鎖で飛躍する京都産業を=

大量生産・大量消費を追求した「工業社会の忘れ物」ともいえる未解決のまま残してきた環境、資源・エネルギー、安心・安全、健康、食糧などの課題や、個性・こだわりを重視するライフスタイル・価値観が、世界に衝撃をもたらした東日本大震災によって、これまで以上に顕在化しています。このように社会が大きく変化し、新しい社会課題が生まれる時、企業には社会ニーズへのきめ細かな変化対応力や機動力が求められます。これらはまさに中小企業ならではの強みであり、わが国の持続可能な成長の担い手として、今まさに中小企業への期待が高まっているといえます。

私は、意欲的な中小企業の成長の原動力となるのが、「知恵ビジネス」だと考えています。これは京都の地域特性や企業独自の強みを活かしながら、知恵を付加価値の源泉にしてオリジナルの技術や商品・サービスを開発し、新たな顧客や市場を創造するビジネスです。

京都商工会議所では、平成19年に「ニュー京商ビジョン」を策定して以来、その基本方針である「知恵産業のまち・京都の推進」に基づく施策を展開し、「知恵ビジネスプランコンテスト」を中心に、多様な意欲ある中小企業が「顧客創造・価値創造」を実現するための支援を強化してまいりました。本年11月に開催した「知恵ビジネスメッセ」では、本所が支援する120もの知恵を活かした企業が一堂に会するなど、知恵ビジネスのすそ野の広がりも実感しています。

また、「京都産業育成コンソーシアム」の設立や、30年後の京都のありたい姿「京都ビジョン2040」の提言など、行政や大学も含めたオール京都で「知恵産業」の理解と共有が進んでいます。具体的な推進プロジェクトも始動しており、中小企業の皆さんが、知恵ビジネスに挑戦する環境が整いつつあります。

さて、平成25年から3年間のサードステージでは、知恵を活かした創造的な活動を行う人、またそうした人同士の交流や研鑽が、中小企業の高い付加価値を生む源泉となることをより明確にして、知恵産業群によって、今後の京都産業の持続的成長を可能にする基盤構築を図りたいと考えています。こうした認識に立ち、サードステージの施策のコンセプトは、中小企業の皆さんが高付加価値経営に挑戦し、知恵ビジネスが次々と自律的に生まれ育つ連鎖反応が起こるという意味を込めて、「知恵の連鎖」としました。

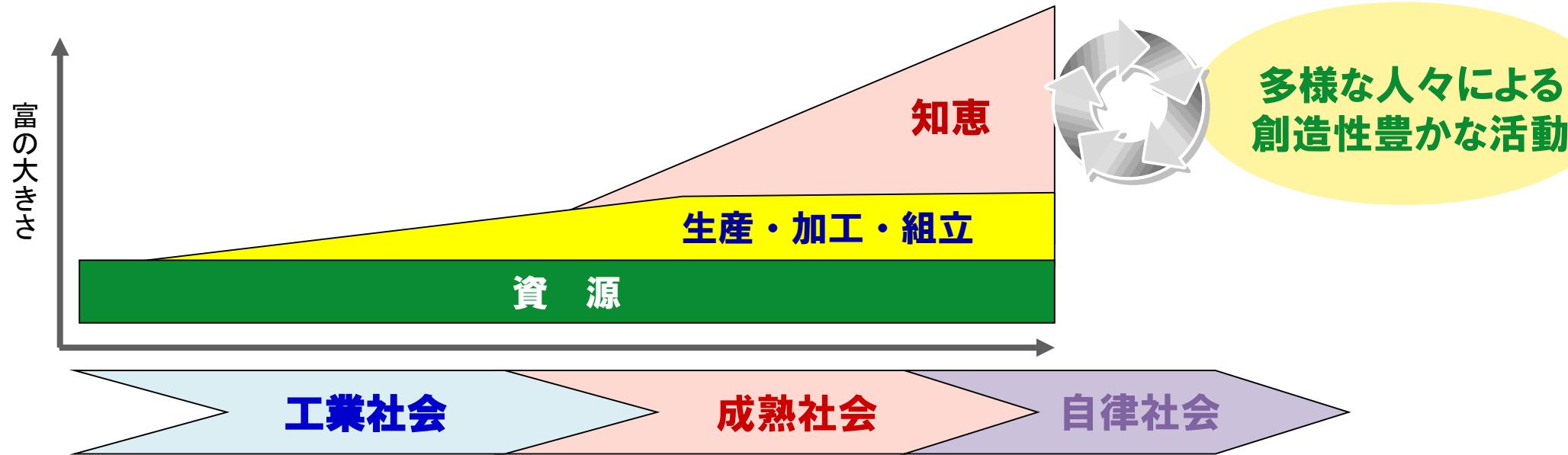
私はこのサードステージを「知恵産業のまち・京都の推進」の集大成と位置付けています。これまでの施策・事業の新陳代謝を図り、「知恵の連鎖」に関連する施策を展開することと、本所の1万2千会員の満足度を高めて元気になっていただくことに、本所の経営資源を集中します。小さくともキラリと光る知恵ビジネスが、産業群として飛躍的に集積する「知恵産業のまち・京都」の実現に向けて、多くの中小企業の皆さまとともに引き続き挑戦してまいりたいと思います。

平成25年11月7日
京都商工会議所 会頭 立石義雄

- 時代背景 人と知恵が価値を生む時代へ ……4
- 知恵産業のまち・京都の姿 ……5
- 施策のコンセプト 知恵産業のまち・京都の実現に向けて ……6
- サードステージの施策体系図 ……7
- めざしたい姿 知恵の連鎖で飛躍する京都産業 ……8
- めざしたい姿 人が集い交流し 新たな価値を生むまち ……9
- めざしたい姿 会員とともに京都の活力を生み出す京商 ……10

京都商工会議所 行動理念

1. 京都商工会議所は、1200年の歴史・伝統・文化に培われた京都を愛し、世界に開かれた活力ある京都産業の発展を目指します。
2. 京都商工会議所は、進取の気風と文化を育んできた先人の精神を継承し、京都の都市格の向上を目指します。
3. 京都商工会議所は、会員のニーズに的確に対応し、信頼され、行動・挑戦し続ける地域総合経済団体を目指します。



価値観	モノの豊かさ(大量生産・販売・消費)	モノ + 心の豊かさ
日本	中央集権(東京一極集中)	機能分散、地域主権
世界	グローバル化、地域間競争	グローバル、地域間協調

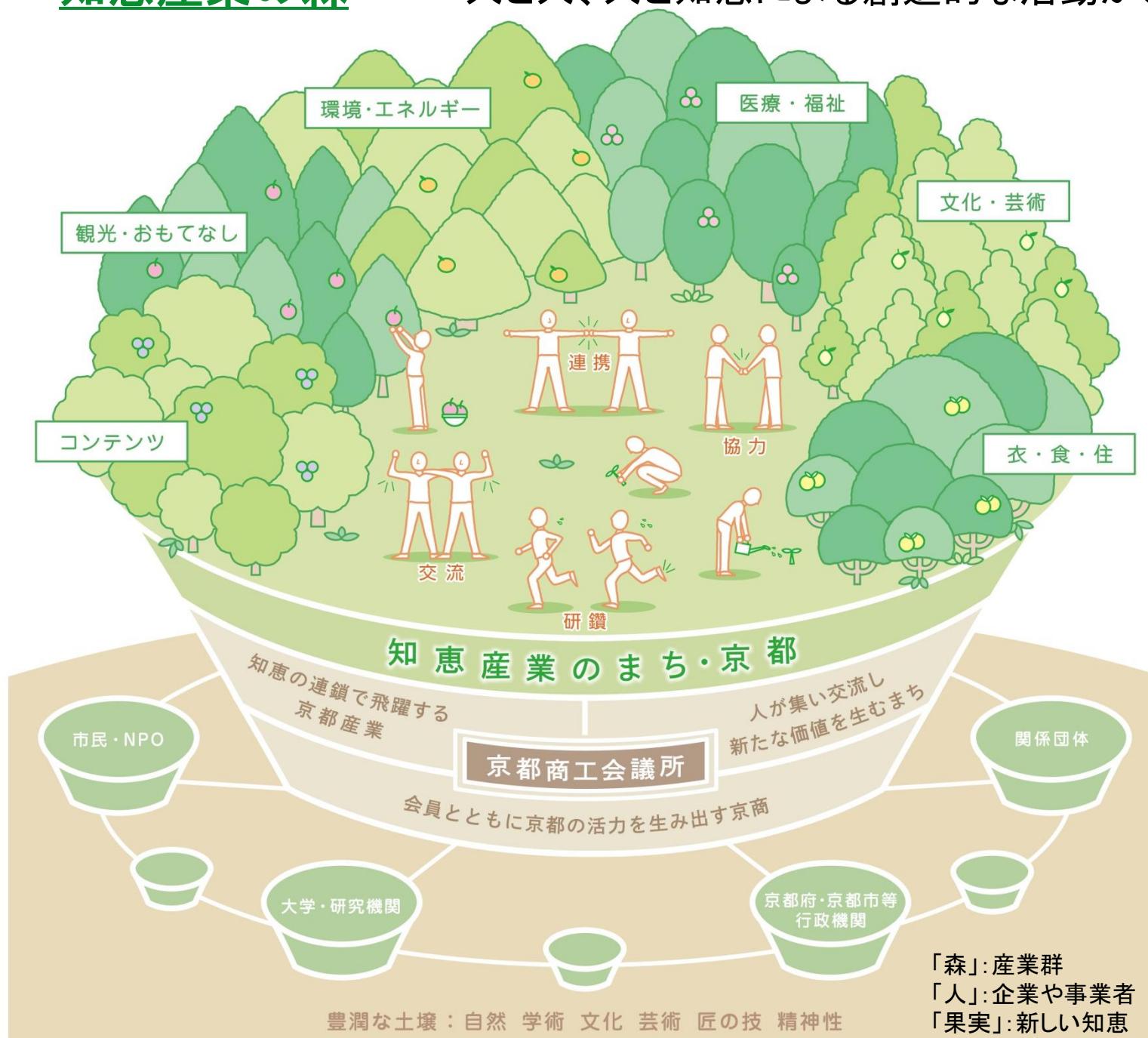
- 社会のボーダレス化が進み、市場・顧客に誰もが容易にアクセスできるようになり、高い付加価値が富の源泉となる時代となる。
- 人と知恵による創造的な活動が、より大きな付加価値を生み、都市の持続可能な成長の核となる。

知恵産業のまち・京都の姿

- 「知恵産業のまち・京都」とは、小さくとも知恵を発揮する中小企業が生まれ育ち、新しい社会ニーズや価値観に対応した多様な産業群が集積する、内需成長のモデル都市。地域密着で高付加価値を強みとしたビジネスモデルを起点に、企業間のコラボレーションやグローバル社会への展開などの取り組みが都市に活力を生み出す。

知恵産業の森

～人と人、人と知恵による創造的な活動が、都市活力の源泉～



京都の長い歴史の中で、文化、芸術、匠の技など人々の営みの積み重ねが、知恵の地層となって「豊潤な土壌」をつくってきました。こうした豊かな地域資源が、都市のブランド力を高め、人や知恵の交流を触発する環境を醸成しています。

連携や協力、研鑽など、多様な人々の知恵を活かした創造的な活動が、「知恵ビジネスの木」となって大地にしっかり根付き、木に実る「知恵の果実」が、社会や顧客に新しい価値を提供しています。

そして、環境・エネルギー、観光・おもてなし、文化など様々な分野で、伝統産業から先端産業までの幅広い知恵ビジネスの木々が群生し、「知恵産業の森」として都市に活力と豊かさを与えています。

本所は、関係機関と連携しながら、“エコノミックガーデニング”の手法を用いて、創造性あふれる知恵産業のまち・京都を力強く支えていきます。

知恵産業のまち・京都の実現に向けて

京商の知恵ビジネス育成施策

【ファーストステージ】 啓発・育成・発展

個別支援を通じて、啓発・育成・発展という知恵ビジネスの創出サイクルをつくりあげた。

【セカンドステージ】 誘発

個別支援と併せて、オール京都で知恵ビジネスの創出サイクルを組織的に支える仕組みを整えた。

【サードステージ】 知恵の連鎖

「啓発・育成・発展」「誘発」の好循環を定着・加速させることで、知恵ビジネス創造の連鎖反応を起こす。同時に、知恵ビジネスが自律的に生み出される環境整備と人づくりを行うことで、産業群として飛躍的に集積させる。

京都が目指す社会像

世界交流首都・京都

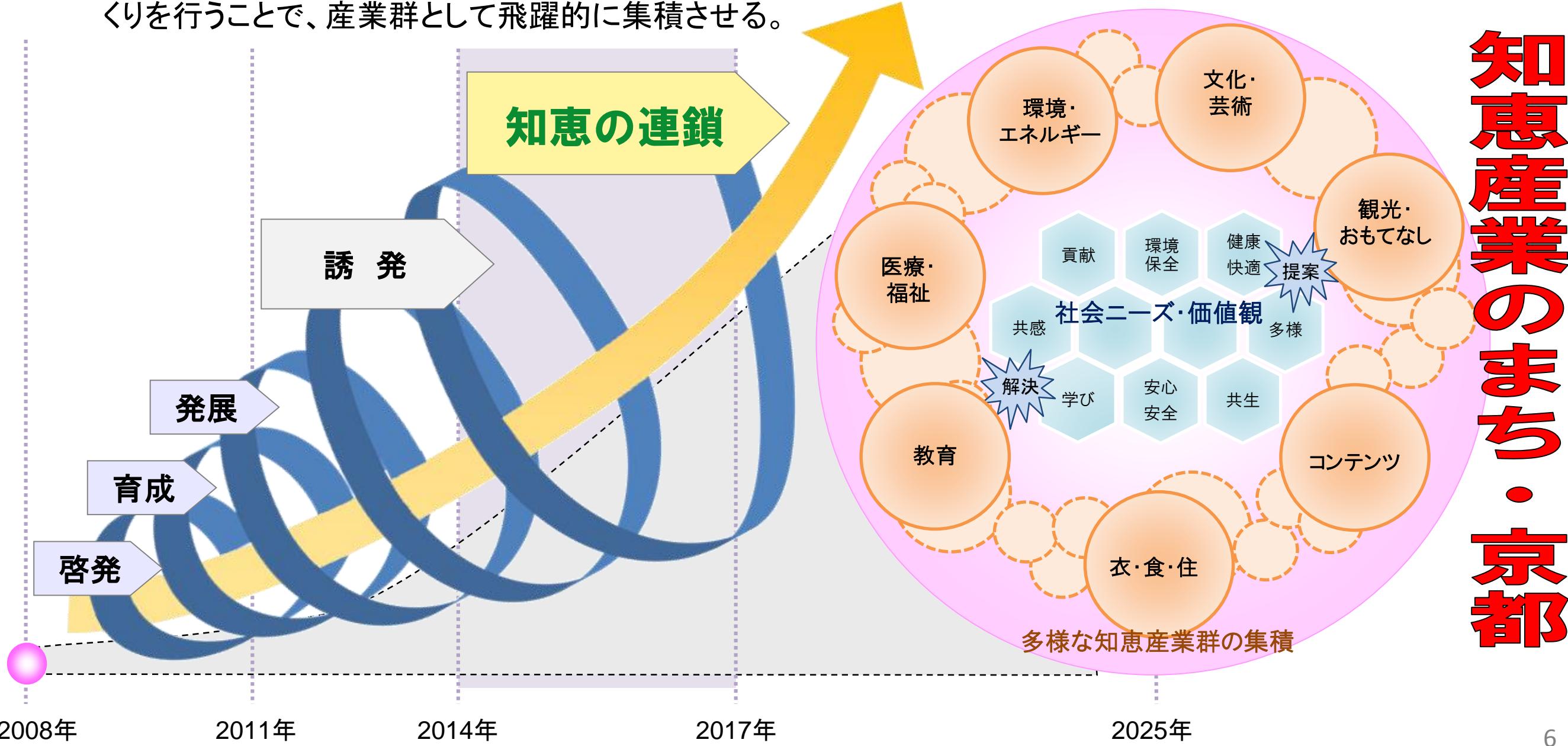
京都の未来を考える懇話会
京都VISION2040

世界の文化首都・京都

大学のまち・京都

価値創造都市・京都

日本文化の中核として、知や精神の交流、人と人との交流、文化や産業の大交流を創り出し、活気と創造性にあふれる都市。



知恵産業のまち・京都

サードステージの施策体系図

基本方針

知恵産業のまち・京都の推進

3つのめざしたい姿

知恵の連鎖で
飛躍する京都産業

人が集い交流し
新たな価値を生むまち

会員とともに京都の
活力を生み出す京商

基本戦略

A1.知恵ビジネス支援

A2.がんばる中小企業支援

B1.創造性が開花するまちの推進

B2.大交流都市の創造

C1.魅力ある会議所活動

C2.会議所基盤の強化

重点事業プラン

A1-1. 知恵ビジネス支援プラン
A1-2. チャレンジアジア支援プラン

A2-1. しっかり応援プラン
A2-2. 人材育成・確保支援プラン
A2-3. 支援力強化プラン

B1-1. 京都ブランド推進・発信強化プラン
B1-2. 賑わいのある都市空間創造プラン
B1-3. 地域価値創造支援プラン

B2-1. おもてなし・京都顧客創造プラン
B2-2. 集客・交流エンジン強化プラン
B2-3. 京都経済センター実現プラン

C1-1. 会員のビジネス交流推進プラン
C1-2. 会員との「絆」強化プラン
C1-3. 情報発信機能充実プラン

C2-1. 会員増強推進プラン
C2-2. 意見・提言活動強化プラン

人づくりと交流の視点→人と人の交流による創造的な活動を促進

基本戦略 A1. 知恵ビジネス支援

知恵ビジネスやグローバル市場に挑戦する小規模・中小企業の皆さんのために、ビジネスシーズの発掘や販路・出口戦略など、その実現をトータルに支援し、地域経済の活力を創造します。

重点事業プラン

A1-1. 知恵ビジネス支援プラン

- 知恵ビジネスプランコンテストを核とした、「啓発・育成・発展」「誘発」の知恵ビジネス創出サイクルの加速
- マッチング支援や**首都圏販路開拓支援事業**などによる知恵ビジネスの成長強化支援
- 知恵産業の集積が飛躍的に進むための環境整備(京都産業育成コンソーシアムを軸とした知恵産業推進プロジェクトの展開、京都産学公連携機構との連携)
- 新ビジネスを育成し、京都の次代を担う成長産業の集積を促進
- 省エネ・創エネ・蓄エネなどの環境・エネルギー産業の育成

A1-2. チャレンジアジア支援プラン

- 現地視察、展示会出展、進出・販路拡大支援によるアジアの成長ダイナミズム取り込み
- 行政・民間ネットワークを活用したアジアビジネス支援拠点の充実・強化
- 現地でのビジネスをサポートする「**サテライト 京商(仮)**」の実施

基本戦略 A2. がんばる中小企業支援

経営の安定から成長へステップアップするための総合的な経営支援の質をより高めて、地域経済の基盤を支える小規模・中小企業の皆さんの持続的な成長を支援します。

重点事業プラン

A2-1. しっかり応援プラン

- 各種認証取得等の活用による、成長に向けて挑戦する小規模企業・中小企業支援
- 地域経済に新たな活力を生む創業・起業支援
- 円滑な事業承継、M&Aなどによる、京都の知恵(中小企業)をつなぐ事業承継支援
- 金融支援、人事労務サポート(共済制度)、省エネ支援などを通じた、次のステップのための経営安定・経営強化支援

A2-2. 人材育成・確保支援プラン

- 「**オーダーメイド研修**」の拡充など京商ビジネススクールの充実
- 企業と大学・専門学校との「**求める人材・育てる人材交流会(仮)**」の開催
- 商工会議所検定試験(簿記、販売士など)の企業での活用促進を通じた人材育成・キャリア形成の支援
- ジョブ・カードセンターの活用周知と企業訪問強化を通じた制度の利用促進などによる中小企業の採用・雇用支援

A2-3. 支援力強化プラン

- 中小企業の幅広いニーズに応える支援体制の推進と経営支援力の徹底強化
- 「**がんばる経営応援専門家ネットワーク**」など、専門家、関係機関との連携強化

基本戦略 B1.創造性が開花するまちの推進

人々の創造性やクリエイティブな才能が十二分に研鑽、交流、発揮できる機会や環境を整え、その活動を国内外に発信することで、才能が才能を呼び、新たな価値が次々と生み出される好循環なまちをつくります。

重点事業プラン

B1-1. 京都ブランド推進・発信強化プラン

- 各々のクリエイティブビジネス(創造的文化産業)が持つ強みを掛け合わせ、新商品・サービスを生み出す「**クリエイティブコラボレーション支援事業**」の実施
- 新商品・サービスの開発や情報発信強化などクリエイティブビジネスへの支援(補助制度の設置)
- 意匠や生活提案など顧客の感性に訴える商品開発・販路開拓支援(「Kyoto Connection」など)
- 京都ブランド推進事業(京都創造者大賞など)の充実強化

B1-2. 賑わいのある都市空間創造プラン

- 公共交通結節点の整備など、新しい人の流れと賑わいを創る拠点づくりの推進(梅小路地域など)
- 快適な歩行者空間と次世代の都市交通システムの整備促進
- サッカースタジアムの建設促進

B1-3. 地域価値創造支援プラン

- 地域商工業者や商店街等が取り組む地域活性化事業支援
- 地域資源を活かした**クリエイティブツーリズム**の促進
- 小倉百人一首殿堂「時雨殿」を通じた文化・観光の振興

基本戦略 B2.大交流都市の創造

外国人観光客など新しい観光需要の取り込みや京都MICEの推進を通じて、付加価値の高い観光や交流による大きな波及効果を生み出し、世界中の人や知恵、情報の一大交流都市を目指します。

重点事業プラン

B2-1. おもてなし・京都顧客創造プラン

- 「インバウンド“^{しんこう}賑耕”事業」による、アジアを中心とした外国人観光客の受け入れノウハウの習得と海外からの送客企業とのネットワークの高度化
- 泊食分離など消費者ニーズの多様化に対応するため、先進事例研究や観光業(宿泊、飲食、文化施設等)の連携を促す「**観光・変化対応力強化事業**」の実施
- 受験者の安定的確保と、合格者の活躍機会の創出を図る「**京都検定 魅力向上プロジェクト(仮)**」の始動

B2-2. 集客・交流エンジン強化プラン

- 京都MICEのブランド発信と受入体制の整備促進
- 京都企業や業界による京都MICE展開事業の推進
- 広域観光プログラムの策定と海外プロモーションなどの実施
- 2020年東京五輪・パラリンピック等を見据えた海外からの誘客の推進

B2-3. 京都経済センター実現プラン

- 京都産業の発展の核として、人と情報の交流の拠点となる「**京都経済センター(仮)**」の実現

基本戦略

C1. 魅力ある会議所活動

会員間交流や会員と事務局の接点の質と量の向上を図り、魅力的な事業を展開することで、会員満足度を向上させるとともに、会員相互の多様なビジネスネットワークの形成を促します。

重点事業プラン

C1-1. 会員のビジネス交流推進プラン

- 定例会員講演会、セミナー、「**会員交流のつどい(仮)**」など全会員対象型事業の充実
- 会員ニーズに応じた多様なジャンルの小規模交流事業の充実（新入会員ビジネス交流会や事業説明会などの定期開催）
- **平成26年度青年部全国大会の京都開催**など、青年部、女性会、部会別会員参加事業の活発化

C1-2. 会員との「絆」強化プラン

- 会員企業の職員担当制などによる「**接点倍増・満足度向上運動(仮)**」の展開
- 会員の多様なニーズに合わせた活発な訪問活動

C1-3. 情報発信機能充実プラン

- 会員限定の特別情報の発信など、会員ニーズにきめ細かく対応した情報提供
- WebサイトやSNSを活用した本所サービス情報の発信強化
- 会員企業の情報発信支援、首都圏、海外へのプレスリリース支援強化

基本戦略

C2. 会議所基盤の強化

地域総合経済団体として会員数の持続的な拡大を目指すとともに、意見・提言活動を強化することで、会議所と会員の存在価値を高め、地域社会の発展に貢献します。

重点事業プラン

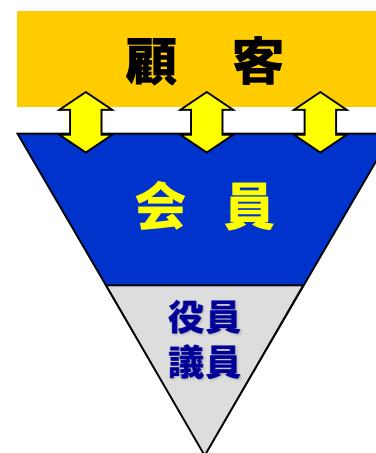
C2-1. 会員増強推進プラン

- 13,000会員を目標とする会員増強運動の実施
- 会員サービス検討プロジェクトなどによる会員メリット実感サービスの実施

C2-2. 意見・提言活動強化プラン

- 会議所の注力する事業分野や時代・会員ニーズに応じたタイムリーな意見・提言活動の強化

会員が主役、ボトムアップ型の組織運営



本所は、会員が主役の逆三角形の運営を展開しています。顧客を創造する会員が主役であり、自律した部会運営のもと、会頭を含め役員・議員が支える「ボトムアップ型」の組織というイメージです。会員の皆さんの積極的な参画を得て、「知恵産業のまち・京都」の実現に向けて、この16の重点事業プランを推進していきます。